



# M i n a t o O A S I S

## みなとオアシス がまごおい

「みなと」は、古くから

物流の拠点

として、暮らしや産業を支え、特色ある歴史・文化を育んできました。情報社会の現在では、にぎわいの創出や地域に関する情報提供など、地域の魅力づくりに貢献できる「みなと」づくりが求められています。こうした中、みなとづくりとまちづくりを連携させた住民参加型の「みなとまちづくり」の取り組みが全国各地で進められています。

市でも、「海のまちづくり」を推進するために、昨年、竹島ふ頭にてNPOによるヨット乗船体験や、港湾に関する方々による「海を知ろう」イベントの開催など「みなとまちづくり」に向けた社会実験を実施しました。

これらの活動が評価され、この4月、国土交通省中部地方整備局が立ち上げた、「みなとオアシス」の初の認定を受けることができました。

今号では、市民の皆さんに「みなとオアシス」制度をご紹介するとともに記念イベントのお知らせをします。



### みなとオアシス制度

海浜・旅客ターミナル・広場など「みなと」の施設やスペースを活用した地域交流拠点を創出する制度です。

つまり、「みなと」を、地域の方々や観光客など多くの人が気軽に立ち寄り交流する憩いの場、いわゆる「オアシス」として活用しようというものです。

この制度は地域のニーズを反映させ、より地元可愛される「オアシス」とするため、住民の皆さんに参加していただきながら創り上げていくことが大きな特色です。

また、中部地方整備局では、東海・東南海地震が懸念されるなか、全国で既に展開している、地域交流拠点の創出のほかに、災害時の生活支援拠点形成を付加しています。

### みなとオアシスの3つの機能

#### (1) 基本サービス

##### ① 交流スペース

海賓館マリンセンターハウス内の展示室、オープンスペースおよび情報ネットワークセンターなどの既存施設を活用し、市民が港湾内で活動を行う海の交流スペースとします。

##### ② 情報提供

海賓館マリンセンターハウス内の展示室、情報ネットワークセンターおよび商工会議所などの既存施設内に、観光パンフレットを配置し観光情報を提供するとともに、災害時における災害情報の拠点としても活用します。

##### ③ トイレ・駐車場

バリアフリーポンツーン「マンボウ」北側の既設トイレと駐車場および海賓館マリンセンターハウス内のトイレをそのまま使用し、近接する市民会館および商工会議所などの公共施設のトイレや駐車場も補完的に利用します。

##### ④ 交通結節機能

JR東海道本線蒲郡駅、名鉄蒲郡駅が北側300mの位置にあり、ま